

第5次益田市総合振興計画
後期基本計画

平成28年3月

益 田 市

目 次

第1章 安心して生活ができ、誰もがいきいきとしているまち	1
1. 次世代育成支援の充実を図ります.....	3
2. 保健・予防や健康づくりを推進します.....	5
3. 救急・医療体制の充実を図ります.....	8
4. 地域福祉の充実を図ります.....	10
5. 人権を尊重し、男女共同参画を推進します.....	12
第2章 豊かな心を育み、歴史・文化を誇れるまち	14
1. 次代を担う人を育てる教育の充実を図ります.....	16
2. 地域に根づく食育・食農教育を推進します.....	19
3. 地域・世代を越えた学習機会を創出します.....	21
4. 歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します.....	23
5. 生涯スポーツ社会の実現に取り組みます.....	25
第3章 地域資源を活かした産業が息づくまち	27
1. 特徴ある農林水産業の基盤を強化します.....	29
2. こだわりの益田ブランドを推進します.....	32
3. 市内の産業構造や基盤を強化します.....	34
4. 新産業の創出や起業支援を行います.....	37
5. 観光・交流を促進します.....	39
第4章 地域間の連携や交流を促す基盤が整備されたまち	42
1. 市内外のアクセスを確保する道路網を整備します.....	44
2. 生活を支える公共交通機関を整備します.....	46
3. 魅力ある市街地を形成します.....	48
4. ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します.....	50

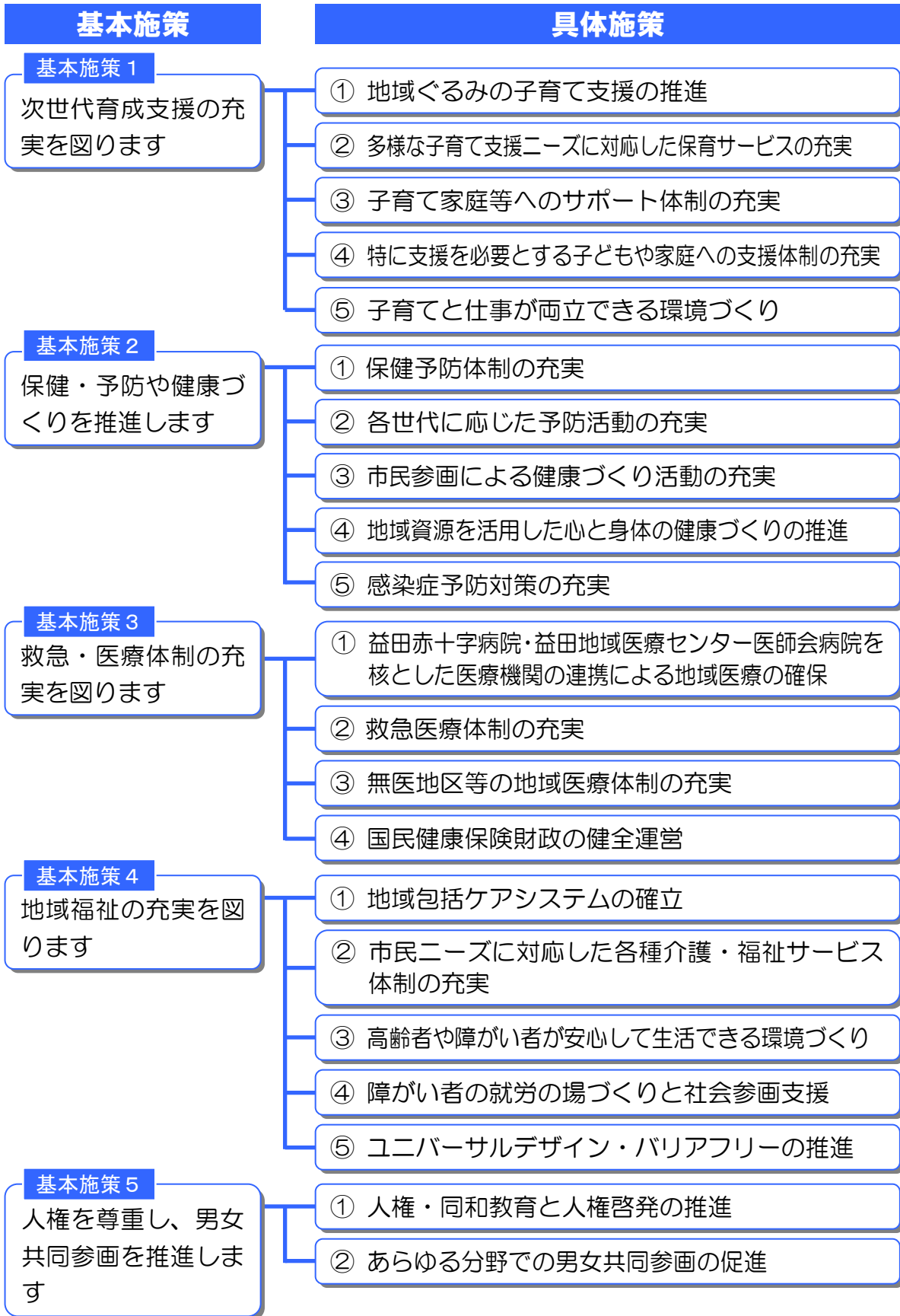
第5章 豊かな自然環境や快適な生活環境の中で暮らすまち	52
1. 暮らしやすい住環境を創出します.....	54
2. 人と地球にやさしい地域環境を形成します.....	56
3. 豊かな自然環境を保全します.....	58
第6章 地域のつながりの中で、一人ひとりが活躍するまち	60
1. 地域の安全対策を強化します.....	62
2. 自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します.....	63
3. 多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します.....	65
4. 地域への定住を確保するための集落対策を促進します.....	67
第7章 市民と協働して、効率的・効果的な行財政運営が行われるまち	69
1. 市民と行政の協働を推進します.....	71
2. 分かりやすく開かれた行政を推進します.....	73
3. 効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います.....	75

第1章 基本目標Ⅰ

安心して生活ができ、 誰もがいきいきとしているまち

様々な病気の予防や自主的な健康づくりの促進、専門・救急・地域医療体制の充実、保健・医療と連携した総合的な福祉サービスの提供、多様なニーズに対応した保育サービスの提供などにより、保健、医療、地域福祉、子育て支援の体制を充実させ、いつでもどこでも誰でも安心していきいきと生活できる体制を整えます。

また、人権や男女共同参画に対する意識を高め、様々な差別やあらゆる偏見をなくし、誰もが平等に社会参画できる環境をつくれます。



1. 次世代育成支援の充実を図ります

◆取組み方針

益田市子ども・子育て支援事業計画に基づき、多様なニーズに対応した子育て支援サービスや保育サービス等を提供するとともに、子どもが生まれることを地域ぐるみで祝福し、育ちを支える地域力を高め、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを行います。

現状と課題

- 少子化が進行しており、年少人口（15歳未満）は年々減少しています。
- 保育所の入所児童数は定員を下回っており、待機児童はいない状況です。
- 幼稚園の入園児童数についても定員を下回っており、年々減少しています。
- 放課後児童クラブの利用児童は、年々増加傾向にあります。

具体施策

① 地域ぐるみの子育て支援の推進

結婚ボランティア団体や、企業、関係団体と協力し、出会いの場を創出するなど、結婚へ至るまでの取組みを支援します。

地域ぐるみの子育て支援ネットワークの機能強化を図り、家庭、地域、学校が一体となって、子どもが育つ環境と体制の整備及び子どもを育てていくための、ひとづくりを進めます。

また、地域で安心して子育てができるよう乳幼児を持つ子育て世代に、親力向上のための支援を行います。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	「はぴこ」による成婚数	20 組
指標	合計特殊出生率	1.89

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.2 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	こんにちは赤ちゃん事業実施率
現状	92.6 %
目標	95.0 %

② 多様な子育て支援ニーズに対応した保育サービスの充実

子育て中の保護者の就労形態の多様化に伴い、通常保育の時間ではカバーできない子育て支援ニーズに対応するため、延長保育、一時保育、休日保育、夜間保育等の保育サービスを地域の実情に応じて維持・拡充します。

また、保育環境の向上や多様な保育環境の整備を支援します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	34.4 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	延長保育事業
現状	25 ヶ所
目標	29 ヶ所
指標	夜間保育事業
現状	0 ヶ所
目標	1 ヶ所

③ 子育て家庭等へのサポート体制の充実

多子世帯など子育てにかかる負担の大きい家庭の経済的負担の軽減や、乳幼児健診や妊婦健康診査の充実及び保護者の子育てに関する悩みや不安の軽減・解消のための相談体制の充実など、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援体制のさらなる充実を進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	乳幼児健康診査受診率 (乳児・1歳6か月児・3歳児健診)
現状	96.2 %
目標	97.0 %

④ 特に支援を必要とする子どもや家庭への支援体制の充実

児童虐待を防ぐために、相談体制の充実を図るとともに、各関係機関と連携して支援が円滑に行われるよう、要保護児童対策地域協議会の活動への支援を継続して行います。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.4 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

また、障がいのある子どもに対しては、各関係機関との連携により、児童デイサービス事業を継続して実施し、必要に応じた個別療育・集団療育を行います。

⑤ 子育てと仕事が両立できる環境づくり

放課後児童クラブの設置やファミリー・サポート・センターの利用促進により、共働き家庭やひとり親家庭の保護者が仕事をしている間に子どもを安心して預けることができる体制のさらなる拡充を図ります。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	ファミリー・サポート・センター 登録者数 250 人
指標	ファミリー・サポート・センター サポート件数 250 件

性差による固定的な役割分担や慣習を見直すとともに、男女が対等のパートナーとして参加する地域社会づくりを推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.9 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	放課後児童クラブ数
現状	13 ヶ所
目標	15 ヶ所

企業や事業所と協力し、豊かな人生を過ごすワークライフバランスを実現し、結婚から子育てまで安心して働ける職場づくりを進めます。

また、育児休業を取得しやすい職場づくりを進めるとともに、子育てに参加するイクメンや、子育てを応援するイクボス（管理職）の拡大を図ります。

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 子育てへの不安や悩みは抱え込まず、相談窓口や身近な人に相談します。
- 買い物のときなど普段の生活の中で子どもを連れて困っている人には手助けをします。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域ぐるみで子どもが育つ環境と体制を整えます。
- 子育てにやさしい職場環境づくりを応援します。

2. 保健・予防や健康づくりを推進します

◆ 取組み方針

健康なまちづくりを目指し、子どもから高齢者まで各世代に応じた保健予防活動を展開するとともに、地域ぐるみの健康づくり活動がさらに充実するよう取り組みます。

現状と課題

- 急速な社会情勢、生活環境の変化に伴い、個人や家庭での生活習慣が多様化する中で、健康づくりの課題は世代によって異なるため、各世代のニーズに応じた保健・予防のあり方が求められています。
- 母子の健康づくりを推進するためには、健診を受けやすい環境を整え、経済的負担を軽減することが求められています。
- 市民、行政、関係機関・団体が一体となった健康づくり活動や介護予防の取組みにより、自ら健康づくりに取り組む人が増えています。
- 「健康ますだ市21」に基づく様々な取組みが実施されていますが、さらなるPRや、取組みの場に出たくても出ることができない人への支援が必要です。

具体施策

① 保健予防体制の充実

各世代に応じた予防活動や市民参画による健康づくり活動を推進していくために、健康増進計画に基づき、保健予防体制を充実し、健康支援体制の強化を図ります。

▼ 施策の満足度（満足している人の割合）

現状	42.5 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼ 目標指標

指標	妊婦健康診査の公費負担回数
現状	14 回
目標	14 回(現状維持)
指標	乳幼児健康診査受診率 (乳児・1歳6か月児・3歳児健診)
現状	96.2 % (平成 26 年度受診率)
目標	97.0 %
指標	年に1回は健康診査を受ける人の割合
現状	66.3 % (平成 27 年度健康づくりアンケート)
目標	75.0 %
指標	年に1回はがん検診を受ける人の割合
現状	36.9 % (平成 27 年度健康づくりアンケート)
目標	50.0 %

② 各世代に応じた予防活動の充実

健康実態調査や各種検診結果を基に、各世代に応じた食生活や運動習慣等の基本的な生活習慣の普及・啓発を行い、生活習慣病予防を中心とした予防活動の充実を図ります。

妊娠・出産及び子育てに係る妊産婦の不安や負担の軽減を図るため、妊娠・出産から子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強化を図ります。

乳幼児健診等を充実し、乳幼児期からの疾病や発達障がい等の早期発見、早期支援に努めます。

また、自死予防対策においては、さらに迅速な対応ができるよう、庁内並びに関係機関の連携強化を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	37.6 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	1年間に地域や職場で健康に関する学習会に参加した人の割合
現状	19.7 % (平成 27 年度健康づくりアンケート)
目標	30.0 %

③ 市民参画による健康づくり活動の充実

健康で安心して暮らせる健康長寿のまちづくりを目指して、各地区振興センター単位の健康づくり活動や介護予防の取組みを継続して実施できるよう支援します。

また、これまで以上に、市民、行政、関係機関・団体の連携を図り、「健康ますだ市21」を核とした「健康なまちづくり」への展開を目指します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	37.9 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	健康づくり組織の認知度
現状	53.6 % (平成 27 年度健康づくりアンケート)
目標	75.0 %

④ 地域資源を活用した心と身体の健康づくりの推進

豊かな自然に恵まれた本市には、心身の癒しや健康づくりにつながる施設や資源が数多く存在します。こうした地域資源を活用し、市民のふれあいづくりや心と身体の健康づくりを推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	33.6 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

⑤ 感染症予防対策の充実

市民が感染症に対する正しい知識を持ち、各自が予防に努めることができるよう、感染症に対する情報提供体制を強化するとともに、関連教育の充実を図ります。

各種予防接種については、適切な情報提供と医療機関との連携に努め、接種の受けやすい環境づくりを進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	39.2 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	MR(麻しん・風しん)ワクチン I 期・II 期接種率
現状	85.4 % (平成 26 年度実績)
目標	90.0 %

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 自分や家族の健康に関心を持ち、ウォーキング等の自分でできる健康づくりからはじめます。
- 子どもの健診や予防接種は、きちんと受診します。
- 1年に1回は健康診査やがん検診を受けます。
- 職場や地域で開催される、健康に関する学習会や催しには、積極的に参加します。
- 森林浴や温泉、スポーツ施設等の地域にある資源を活用し、心身の癒しや健康づくりに努めます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域に住む人がお互いの健康に気を配り合い、相談しやすい地域をつくれます。
- 地区振興センター単位で取り組んでいる健康づくり活動に、みんなで参加し、地域全体で盛り上げていきます。
- 地域にある様々な機関・団体と連携して健康に関する取組みを行います。
- 地域や職場において、心と身体の病気に対する理解に努めます。

3. 救急・医療体制の充実を図ります

◆ 取組み方針

益田赤十字病院や益田地域医療センター医師会病院を核とした医療機関の連携体制の構築により、専門医療、救急医療、地域医療体制をつくり、いつでもどこでも安心して生活できる環境を整えます。

現状と課題

- 病院勤務医の不足が深刻化しており、医師一人ひとりの労働負担が非常に大きい状況です。
- 産婦人科・麻酔科等の医師の確保が難しい状況が続いていますが、平成26年12月からは里帰り出産の受け入れが再開されています。
- 病院への救急外来の患者が増加していますが、そのうち、約7割が初期救急での受診であり、日直・宿直医の負担が増加するとともに、重症患者への対応が困難な場合が危惧されます。

具体施策

① 益田赤十字病院・益田地域医療センター医師会病院を核とした医療機関の連携による地域医療の確保

市内にとどまらず益田圏域の地域医療を支えるため、益田赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院を核に、広域にわたる医療機関の連携体制を強化し、地域の現状やニーズに応じた適切なサービスを提供します。

安心して結婚し、子どもを産み育てられるよう、周産期医療の維持など医療体制の充実を支援します。また、妊娠から出産への正しい知識や、将来のライフプランを考える啓発を進めます。

▼ 施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.2 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

② 救急医療体制の充実

益田地区広域市町村圏事務組合と連携し、救急医療体制の充実を図ります。また、初期救急については、平成21年4月に開設した休日応急診療事業を継続して実施することで、病院の救急外来を担当する医師の負担を軽減するとともに、「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持ち、早めの受診を促すなど、救急患

▼ 施策の満足度（満足している人の割合）

現状	38.6 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

者の命を守るためにも安易な救急車利用や時間外受診を控えるように意識啓発を行います。

③ 無医地区等の地域医療体制の充実

益田市医師会の協力のもと、巡回診療の継続や情報通信の活用により医療体制の確保・充実に努めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.8 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	無医地区等における巡回診療
現状	4 地区
目標	4 地区（維持継続）

④ 国民健康保険財政の健全運営

国民健康保険制度の運営主体の都道府県化に対応するとともに、保険料の収納率の向上及び医療費の適正化、特定健康診査・特定保健指導の利用による生活習慣病の予防の推進などにより、保険財政の健全化を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	25.6 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	特定健康診査 受診率
現状	38.2 % (H26)
目標	65.0 %
指標	特定保健指導 実施率
現状	19.9 % (H26)
目標	45.0 %

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 「かかりつけ医」を持ち、重症化しないうちに、早めに受診するよう努めます。
- 子どもの病気で不安な症状があれば、身内、知人に相談、または小児救急相談電話（#8000 等）を利用して、知恵を借ります。
- 安易な時間外受診や救急車利用は控えます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 病院や病気のことを相談し合えるご近所づきあいができる地域づくりを行います。
- 地域における健康づくり活動に参加し、健康維持に努めます。

4. 地域福祉の充実を図ります

◆取組み方針

保健・医療と連携した総合的な福祉体制の構築や、様々な介護・福祉サービスの提供により、高齢者や障がい者等にとっても、安心して生活できる環境を整えます。

現状と課題

- 人口に占める高齢者の割合が年々増加しており、独居高齢者、高齢世帯も増加しています。
- 今後、介護を必要とする高齢者の増加も見込まれます。
- 高齢者が入居できる福祉施設等が不足しており、慢性的に施設入所待機者がある状況です。
- 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が、平成 28 年 4 月に施行されます。

具体施策

① 地域包括ケアシステムの確立

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」構築への取組みを進めます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	介護を要しない高齢者の割合 85.7 % (現状維持)
※ 高齢者のうち、要介護1~5以外の者の割合	

▼施策の満足度 (満足している人の割合)			
現状	24.7 %	目標	30 %以上

② 市民ニーズに対応した各種介護・福祉サービス体制の充実

介護・福祉サービス利用者や介護施設への入所希望者のさらなる増加を見据え、介護・福祉サービスのメニューの拡充や質の向上及び施設の整備、人員体制の適正配置など、地域ごとに介護・福祉機能の充実を図ります。

▼施策の満足度 (満足している人の割合)			
現状	25.6 %	目標	40 %以上

▼目標指標

指標	要介護認定者におけるサービスの利用率
現状	79.2 %
目標	90.0 %

③ 高齢者や障がい者が安心して生活できる環境づくり

地域で高齢者や障がい者がいきいきと安心して日常生活が送れるよう、介護保険制度や障害者自立支援法による制度を補完するサービスとして、緊急時の対応を含めた生活支援サービスを実施するとともに、身近な地域で生きがいづくり、健康づくりにつながる各種事業を展開し、介護予防の取組みを進めます。

▼施策の満足度 (満足している人の割合)			
現状	27.3 %	目標	40 %以上

▼目標指標

指標	要介護認定者における重度者の割合
現状	35.4 %
目標	40.0 %

また、高齢者が自らの経験と知識を活かして、地域の中で積極的に役割を果たしていけるよう、地域間・世代間交流等を通じた社会参加活動を推進します。

④ 障がい者の就労の場づくりと社会参画支援

障がい者の社会参加や自立を確保する環境づくりを行うとともに、関係機関との連携による就業の場づくりや、レクリエーション・文化活動を通じた社会参画機会の創出を推進します。

また、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会の実現を目指します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	23.7 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

⑤ ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進

道路の整備や施設の建設、改築の際は、ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した設計を行い、高齢者や障がい者が不自由なく安心して日常生活を送ることができる環境づくりを推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	25.6 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 移動などの際に困っている高齢者や障がい者がいたら、「お手伝いしましょうか」と声を掛けます。
- 近隣の高齢者に日頃からあいさつをするなど、声を掛け、見守ります。

地域で一緒になって取り組むこと

- お互いに助け合い、支え合うことができる、高齢者にも障がい者にもやさしい地域を形成します。
- 地域の活動等に、高齢者や障がい者が参画できる機会をつくります。

5. 人権を尊重し、男女共同参画を推進します

◆取組み方針

人権や男女共同参画に対する意識を高め、個性や多様性を認め合うことで、差別や偏見をなくし、誰もが平等に社会参画できる環境をつくります。

現状と課題

- 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して人権教育・啓発の取組みを進めていますが、依然として差別や虐待等の人権侵害が後を絶ちません。
- 男女共同参画講演会の開催を通じた意識啓発により、審議会等の政策・方針決定過程への女性の参画率は年々上がっているものの、引き続き向上に向けた取組みが必要です。

具体施策

① 人権・同和教育と人権啓発の推進

学校教育と社会教育との連携により、同和問題をはじめとした様々な人権問題についての学習会、講演会等を学校や地域、職場において実施し、広く市民の人権問題に対する理解と認識の醸成を図ります。

また、あらゆる人権問題に対する基本方針を策定し、人権教育及び人権啓発への取組みを総合的に推進するとともに、定期的に人権問題に対する市民意識調査を実施して、人権施策の評価や推進に役立てます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.4 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② あらゆる分野での男女共同参画の促進

定期的に男女共同参画に関する市民意識調査を実施するとともに、益田市男女共同参画計画に基づき、家庭生活や地域社会における様々な分野で男女共同参画社会の実現に向けて総合的、計画的な取組みを推進します。

男女共同参画社会づくりや魅力ある地域づくり活動、地域の担い手となる女性人材の育成や女性の各種審議会への参加促進及び地域活動への参加促進に関する啓発活動に取り組みます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	男女共同参画に取り組む事業所数
	10 社/年

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.2 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	こころカンパニー事業所数
----	--------------

現状	14 事業所
----	--------

目標	25 事業所
----	--------

指標	益田市男女共同参画計画の認知度
----	-----------------

現状	55.3 %
----	--------

目標	60.0 %
----	--------

指標	市の審議会等への女性の参加率
----	----------------

現状	31.3 %
----	--------

目標	40.0 %
----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日々の生活の中で人権尊重に向けた取組みを行います。
- 私たち一人ひとりが、個性や多様性を認め合い、お互いを尊重し合えるようにします。
- 家庭や職場で根強く残っている固定的な性別役割分担意識を男女平等の視点から見直します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 誰もが地域の一員として参画できる地域づくりを行います。
- 地域ぐるみで、差別や偏見をなくします。
- 地域社会の中で男女共同参画の意識を高めます。

第2章 基本目標II

豊かな心を育み、 歴史・文化を誇れるまち

良好な学校施設環境やレベルの高い教育システムを整えることに加え、豊かな自然、歴史・文化・芸術等を活かした教育環境づくりを行い、地域に開かれた教育環境の中で、子どもたちが地域を知り、ふるさとを誇りに思う教育を推進します。

また、各地域の多様な活動組織の連携を深め、知識や技術を持った人材を活かし、地域、世代を越えて、誰もが学習できる機会を創出します。

さらに、地域の歴史や文化を活用した取組みや「島根県芸術文化センター・グラントワ」を核とした芸術・文化交流の取組み、各施設を活用したスポーツ活動等を推進し、健康づくりや余暇時間の活用といった視点でも多様な学習・交流の機会を提供します。

基本施策

具体施策

基本施策 1

次代を担う人を育てる教育の充実を図ります

- ① 地域ぐるみでの教育の推進
- ② 確かな学力の向上を目指した教育の推進
- ③ 子どもの可能性を伸ばす、個性を大切にした教育の推進
- ④ ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進
- ⑤ 豊かな心と健やかな身体を育む教育の推進
- ⑥ 教育環境の整備・活用

基本施策 2

地域に根づく食育・食農教育を推進します

- ① 食への感謝の気持ちや意識・知識の向上
- ② 地域の食文化の継承
- ③ 安心安全な食の提供
- ④ 食農教育の推進

基本施策 3

地域・世代を越えた学習機会を創出します

- ① 地域間の連携による学習内容の多様化と指導者のネットワーク化
- ② 知識・技術を持った人材を活かした学習プログラムづくり
- ③ 社会教育の推進と活動拠点づくり
- ④ 図書館の充実などによる読書活動の推進

基本施策 4

歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します

- ① 豊かな歴史・文化資源を保存・活用したまちづくりの推進
- ② 伝統文化を守り、伝承する活動の支援
- ③ 島根県芸術文化センター・グラントワを核とした文化交流の振興

基本施策 5

生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

- ① スポーツ環境の充実
- ② スポーツイベント等を通じた地域間交流の推進
- ③ 市民の体力・競技力の向上
- ④ スポーツの指導者・スポーツボランティアの育成

1. 次代を担う人を育てる教育の充実を図ります

◆取組み方針

良好な学校施設環境やレベルの高い教育システムを整えるとともに、地域の資源を活かし、地域に開かれた教育環境の中で、子どもたちが地域を知り、地域を誇りに思う教育を推進します。

現状と課題

- 少子高齢化、過疎化が進む中で、将来の益田市を担う子どもたちが益田市を誇りに思えるようなふるさと教育が重要です。
- 平成24年6月に益田市・津和野町・吉賀町の議会は、アウトメディアの推進に関する決議を行いました。
- 教師の指導力を向上させることにより、児童生徒の確かな学力を育成することが求められています。
- 学校教育においては、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」を柱とする「生きる力」をバランスよく育むことが求められています。
- 学校施設の老朽化が進んでおり、耐震化工事の実施が急がれています。

具体施策

① 地域ぐるみでの教育の推進

子どものメディア等の利用を含む生活習慣の改善や学習習慣の確立について、社会全体の問題として地域が一丸となって取り組むことができるように、アウトメディア運動の推進など家庭・学校・地域の連携を強化する取組みを推進します。

また、地域の魅力づくりや、個性を伸ばす教育環境づくりを図るため、学校を新たに拠点とした、社会教育活動を進めます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	中山間地学習環境整備事業 授業参加率 80 %以上
指標	家庭学習が増加した生徒の割合 50 %以上
指標	社会教育活動拠点づくりに取り組む地区 4 地区
指標	地域の子育て事業の参加者満足度 80 %以上

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	39.0 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

② 確かな学力の向上を目指した教育の推進

学力調査の分析結果等を活かした学力向上策を講じるとともに、教職員間の連携を深めることで指導力を高め、児童生徒の学力向上を図ります。

また、市内の高校と連携し、魅力ある教育環境の創出を支援します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	教育環境の向上を図る高校 2 校
----	------------------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.6 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	学力向上策の作成と実践
現状	全校で実践
目標	全校で実践
指標	教職員間の連携の推進
現状	全校で実践
目標	全校で実践

③ 子どもの可能性を伸ばす、個性を大切にした教育の推進

学校教育における地域とのふれあいや、学校間の定期的な交流、さらには「学び舎ますだ」や中山間地域の学習環境整備など、多様な取り組みにより、子どもたちが豊かな人間性や基礎・基本を身につけるとともに、個性を活かし、自ら学び自ら考える「生きる力」を育成します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	31.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

④ ふるさとを愛し、誇りを持つ心を育てる教育の推進

益田市教育ビジョンに基づき、ふるさとの良さを理解する子どもを育てます。

また、益田家文書や全国的に稀少な遺跡など、本市に関わる重要な歴史・文化資源について、学術的な裏付けを踏まえて正しく活用を図り、ふるさとに誇りの持てる地域教育を実践します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	わたしたちのまち発見事業 参加者満足度 80 %以上
----	-------------------------------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	31.7 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	ふるさと教育の基本方針の策定
現状	策定中
目標	策定

⑤ 豊かな心と健やかな身体を育む教育の推進

体験学習や健康教育、食育等に取り組むことにより、子どもたちが豊かな心と健全な身体を育むことができる教育環境を提供します。

また、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた支援を進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	36.8 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

⑥ 教育環境の整備・活用

児童・生徒の安全確保と地域における防災機能の強化のため、施設の早期耐震化を進め、老朽化の進む施設の計画的な施設整備を行い、安全安心な教育環境を整備します。

また、空き教室等を地域住民の活動の場として有効活用できるよう施設開放を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.6 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	学校施設耐震化の実施
現状	32.6 % (15/46 棟)
目標	耐震化の必要な施設の実施
指標	学校施設の維持補修の実施
現状	老朽化施設の維持補修
目標	安心安全な教育環境の整備

私たちの協働の取組み

- 益田市に誇りを持ち、ふるさとを大切に思う心を育みます。
 - 地域の子どもたちに声掛けをします。
 - 子どもの教育に関心を持って、学校行事に積極的に参加します。
- 地域ぐるみで子どもが育つ環境と体制を整えます。

2. 地域に根づく食育・食農教育を推進します

◆取組み方針

食への感謝の気持ちを醸成するとともに、地域の食文化への認識を高め、食の安心・安全と地産地消を意識した食育を推進します。

現状と課題

- 山、川、海全ての要素が市内にあるため、変化に富んだ自然に恵まれており、多彩な味覚の宝庫になっています。
- 家族そろって食卓を囲み、コミュニケーションをとることが減少しています。
- 生活環境の多様化が、生活全体や食生活に影響を及ぼしています。
- 幼児から高齢者までを対象に公民館で食に関する活動が行われていますが、参加者の固定化が見られるため、参加者層の拡大が求められています。
- 平成 25 年度に改訂された第 2 次益田市食育推進計画に基づき、食育への取組みを進めています。

具体施策

① 食への感謝の気持ちや意識・知識の向上

食への感謝の気持ちを深めるとともに、子どもの頃から健康な食習慣を心がけることができるように、食への関心を高め、あらゆる情報を選別して食を選ぶ力を身につける教育を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	38.0 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	食育に関心のある人の割合
現状	73.3 %
目標	増やす
指標	朝食の欠食者の割合
現状	小5 3.0 %、中2 3.6 %
目標	なくす

② 地域の食文化の継承

家庭や地域に長年受け継がれてきた食文化のことを学び、知識を向上させる機会を提供するとともに、食を通じた地域間、世代間の交流を深め、食文化を次世代に引き継ぎます。

また、「中世の食」の再現についても、文化的かつ観光的な素材としての活用を目指す団体の取組みを支援します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	行事や季節を意識した食事を摂る人の割合
現状	86.0 %
目標	増やす
指標	食に関する体験活動を実施した学校の割合
現状	71.4 %
目標	増やす

③ 安心安全な食の提供

食の安心・安全や地産地消、生産者と消費者のつながりについて、ともに考える場をつくるとともに、市民一人ひとりが食的確に選ぶための情報を提供します。

また、生産者との連携を深めながら、地元食材を活用した学校給食における地産地消の推進を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	34.8 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	学校給食(副食)における主要農産物の地元産使用率[重量ベース]
現状	50.6 % (平成 26 年度実績)
目標	60.0 %
指標	国内・県内・地元産を優先する人の割合
現状	73.6 %
目標	増やす

④ 食農教育の推進

子どもたちの「食」に関する関心や認識を高めるため、実際に農業等の生産活動に関わることができる教育の実践を促進します。

食育・食農教育を通じて、地産地消などの地域づくりへの関心を高め、地域の担い手となる人材の育成を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	33.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 食への感謝の心を持ち、それを子どもたちに伝えます。
- 食材として地元産品を選択します。
- 規則正しい生活リズムを心がけ、3食しっかり食べます。
- 家庭や地域に伝わる季節料理や行事食、伝統料理を大切にします。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域の食文化を大切にし、地域全体で守っていきます。
- 地域の食文化や地元産品を使った食を地域の資源として活用します。
- 早寝早起き朝ごはん運動を地域ぐるみで広げていきます。

3. 地域・世代を越えた学習機会を創出します

◆取組み方針

各地域の多様な活動組織の連携を深め、知識や技術を持った人材を活かし、地域、世代を越えた学習機会を創出します。

現状と課題

- 学習活動に参加する市民が限られており、地域全体の取組みとなっていないのが現状です。
- 各地域の知識や技術を持った人材が、うまく活用されていません。
- 市民自ら学んだことを活かすことにより、地域の一員としての存在感や喜び、誇りを生み出すことが求められています。
- 市民学習センターや各地区の公民館を活用して、学習活動が盛んに行われています。

具体施策

① 地域間の連携による学習内容の多様化と指導者のネットワーク化

各地域の特性を活かした学習プログラムをつくり、各地域間で連携することで、多様な分野の学習機会を提供するとともに、各学習プログラムの指導者のネットワークを構築し、様々な地域、世代の人が交流できる機会を提供します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状 21.8 % 目標 30 %以上

▼目標指標

指標	中学校区単位のネットワーク会議の開催
現状	10 校区
目標	12 校区
指標	放課後子どもクラブ又は放課後子ども教室の実施
現状	13 ヶ所
目標	18 ヶ所

② 知識・技術を持った人材を活かした学習プログラムづくり

各地域で学習活動を進める団体、グループを育成するとともに、地域に住む豊富な知識や様々な技術を持った人材を発掘し、学習活動に係わる地域の団体や人材の蓄積を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状 26.3 % 目標 40 %以上

また、人材の登録・蓄積・共有・活用のシステム化を進め、多様な学習プログラムの作成に活かします。

③ 社会教育の推進と活動拠点づくり

市民学習センターや地区の公民館を生涯学習の活動拠点としてその機能を強化するとともに、市民の学習機会や成果を活かせる機会を充実します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.5 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	市民学習センターの講座参加者
現状	1,736 人
目標	1,800 人

④ 図書館の充実などによる読書活動の推進

益田市立図書館の管理システムは、3館統合により利用者にとって活用しやすくなりました。今後は、郷土資料の充実を図るとともに、資料のデジタルアーカイブ化など新しい取組みにより利用者の増加を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	43.4 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	年間図書館利用者数
現状	151,611 人
目標	220,000 人

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 各学習活動の講師・指導役として声がかかった場合は、協力します。
- 公民館での学習活動に積極的に参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域に住む知識や技術を持った人材の掘り起こしを行い、その人材の蓄積・活用を行います。

4. 歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します

◆取組み方針

地域の歴史や文化を総合的に保存・活用し、さらに学習・交流のための要素として石見人の心の原風景を伝える仕組みづくりを進めるとともに、グラントワを核とした芸術・文化交流の機会を創出します。

現状と課題

- 「歴史を活かしたまちづくり計画」の策定以降、必ずしも行政と市民の共通理解のもとに事業展開がなされてきたとは言い難い状況にあります。
- 益田市の歴史・文化についての近年の研究成果の蓄積や国史跡指定の流れを受け、これらを積極的に活用することが求められています。
- 歴史や文化を学び、伝える市民団体が各地域に存在し、活動しています。
- 島根県芸術文化センター「グラントワ」の来館者数は開館翌年の平成 18 年をピークとし、以降ほぼ横ばいで推移しています。
- 市の将来を担う児童・生徒に島根県立石見美術館の無料パスポート（益田市特別鑑賞券）を本配布し、気軽に一流の美術作品にふれる機会を提供しています。

具体施策

① 豊かな歴史・文化資源を保存・継承・活用したまちづくりの推進

市民、地域、行政が連携し、各地域の歴史・文化の魅力や価値を今後のまちづくりに活かすために、文化庁が提唱する「歴史文化基本構想」を策定し、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」との連携も図りながら、地域固有の歴史・文化資源を活かしたまちづくりを進めます。

また、こうした取組みを通じて、日本遺産の認定を目指します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	30.0 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	史跡益田氏城館跡（三宅御土居跡）公有地化
現状	49.8 %
目標	51.2 %
指標	益田氏城館跡整備基本計画の策定
現状	策定中
目標	平成 29 年度策定
指標	歴史文化基本構想の策定
現状	調査・策定中
目標	平成 30 年度策定

② 伝統文化を守り、伝承する活動の支援

本市に現存する「石見神楽」や「益田糸あやつり人形」等の魅力ある伝統文化は多くの人に認められており、これらの文化資源を活かしたまちづくりを推進するとともに、伝統文化を守り、後世へ継承するための活動や後継者の育成を支援します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	40.8 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

③ 島根県芸術文化センター「グラントワ」を核とした文化交流の振興

島根県芸術文化センター「グラントワ」を島根県西部の芸術文化交流の中核拠点として、地域の様々な文化に関する情報収集や交流ができる環境づくりを進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	49.9 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	島根県立美術館年間入館者数
現状	74,490 人/年
目標	78,000 人/年

また、市外から多彩な芸術鑑賞機会を提供するとともに、グラントワを活かした芸術文化交流イベント等の取組みを創出します。

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 地域に残る歴史・文化資源のを知り、市内外の人にPRします。
- 私たち一人ひとりが地域の歴史・文化資源を巡り、学ぶ機会をつくります。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域で歴史・文化資源の掘り起こしを行います。
- 民話や昔の暮らし・体験を聞く機会を増やします。
- 地域の活動団体を中心に連携します。

5. 生涯スポーツ社会の実現に取り組みます

◆取組み方針

各施設を活用したスポーツ活動を推進し、地域間交流の機会を創出します。また、健康づくりや余暇時間の活用などの視点でのスポーツ活動を推進します。

現状と課題

- 各地域でのスポーツ活動やスポーツ大会の実施などが行われています。
- 「益田運動公園」「匹見中央公園」「ひだまりパークみと」「島根県立万葉公園」等の多様なスポーツ・レクリエーション施設があります。
- 指導者の育成や、スポーツ団体のネットワーク化が課題となっています。

具体施策

① スポーツ環境の充実

生活に潤いをもたらすものの一つとして、スポーツが日々の暮らしの中に取り入れられるように、多様な参加機会の拡充を図り、誰でも参加できる体制づくりを行います。

また、既存施設の効果的・効率的な運営を促進するとともに、学校体育施設の無料開放や、遊休地、公園、街路、空地等の生活空間を活用した新たな「場」づくりを推進します。

益田運動公園等の老朽化が進んでいることから、計画的に対応を図っていきます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.3 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	総合型地域スポーツクラブの設立
現状	無し
目標	2 団体
指標	指定管理者設定における公募による施設の数
現状	1 施設
目標	3 施設
指標	益田運動公園の利用者数
現状	156,267 人
目標	160,000 人

② スポーツイベント等を通じた地域間交流の推進

萩・石見空港マラソン全国大会や益田市駅伝競走大会、匹見峡紅葉ロードレース大会、益田市民体育祭等の既存のスポーツ大会に加え、より高いレベルのスポーツイベントの開催・誘致や、サッカー、ロードレース等のスポーツを通じた都市交流を推進するなど、スポーツをテーマに地域内外の幅広い交流機会を創出します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	46.9 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	萩・石見空港マラソンの参加者
現状	3,197 人
目標	4,000 人

③ 市民の体力・競技力の向上

競技大会やスポーツ教室への参加を促進し、身体能力や技術力の向上を図ります。

また、体力測定のを機会を設け、日々の健康・体力づくりを促進することにより、健康意識の向上を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	31.0 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

④ スポーツの指導者・スポーツボランティアの育成

スポーツの指導者として様々な場面で活躍できる機会を増やし、その機会へ向けたスキルアップのための場をつくるとともに、スポーツ分野でのボランティア活動を気軽に楽しめる仕組みをつくりま

す。また、スポーツ団体のネットワーク化に取り組み、関係者間による情報や意見交換を促進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.1 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	スポーツ推進員の数
現状	25 人
目標	40 人

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 地域で行われるスポーツ大会等に参加します。
- 健康づくりのためにスポーツに取り組めます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域で行われるスポーツ大会等を支援します。
- スポーツによる他地域との交流を地域全体で行います。
- 地域で運動会等のスポーツ大会を開催します。

第3章 基本目標Ⅲ

地域資源を活かした 産業が息づくまち

今後も本市の産業を維持し、発展させるため、農林水産業においては担い手を確保・育成するための仕組みをつくり、商工業においては既存企業の育成・支援や新規企業誘致による雇用の創出を図るとともに、新産業の創出のための技術・能力の育成や起業支援を行い、市内の産業の基盤強化を目指します。

さらに、農林水産業の6次産業につながる商品開発や工業技術を活かしたものづくり、地域資源を活かした観光産業の育成などを通して、特徴ある既存産業や豊富な地域資源に光をあて、それを磨いて価値を高め、市内外に売り出す仕組みを構築します。

基本施策

具体施策

基本施策 1

特徴ある農林水産業の基盤を強化します

- ① 意欲のある担い手の育成・支援
- ② 地域営農体制づくりと生産基盤の整備
- ③ 環境保全型農業の推進
- ④ 豊富な森林資源を活かした林業の振興
- ⑤ 川と海の恵みを活かした水産業の振興

基本施策 2

こだわりの益田ブランドを推進します

- ① 地産地消の推進
- ② 6次産業化による生産・加工・販売体制の強化
- ③ 特産品等の高付加価値化の推進

基本施策 3

市内の産業構造や基盤を強化します

- ① 既存企業の育成支援
- ② 石見臨空ファクトリーパーク等への新規企業の立地促進
- ③ 次代を担う若者の地元就職の促進
- ④ 労働者福祉対策の充実

基本施策 4

新産業の創出や起業支援を行います

- ① 新・省エネルギーの利活用による新分野の育成
- ② 新規事業に取り組む起業家の育成支援
- ③ 時代のニーズにあった技術・能力の育成・支援

基本施策 5

観光・交流を促進します

- ① 地域特性を活かした観光開発
- ② 地域の観光資源のネットワークづくり
- ③ 自然、農山村の良さを活かした体験型観光・滞在型交流の推進
- ④ 国内交流・国際交流の推進

1. 特徴ある農林水産業の基盤を強化します

◆取組み方針

特徴ある農林水産業の基盤を強化するため、これからの農林水産業を支える担い手の育成・確保と、計画的な生産基盤の整備を行います。

現状と課題

共通

- 農林水産業は、従事者の高齢化、後継者不足により生産力が低下しており、担い手の確保や生産性と所得の向上が急務となっています。

農業

- 耕作放棄地が増加しています。
- 有害鳥獣による農地への被害が深刻化しています。
- エコロジー農産物の認証など、環境にやさしい農業が推奨されています。
- 産地維持に向け生産量の確保を図る必要があります。

畜産業

- 飼料や資材価格の高騰により厳しい経営を余儀なくされています。

林業

- 森林面積が市域の約88%を占めており、そのうち人工林率は約32%です。
- 造林は減少傾向にあり、計画的な保育、間伐がされていない人工林も増えてきています。

水産業

- 全体の漁獲高が減少傾向にある中で、鴨島はまぐりの漁獲量は安定しています。

具体施策

① 意欲のある担い手の育成・支援

新たに本市で農林水産業に従事する人をサポートする体制づくりと積極的な支援を行うことで、これからの農林水産業を担う人材の育成・確保を図るとともに、市民農園の拡充やNPO法人が実施する農林水産関係の体験への支援を通じて、農林水産業への理解と関心の向上につなげます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	新規就農者数	60人
指標	農林漁業研修受入れ数	13人/年
指標	うち林業研修受入れ数	3人/年

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.6%	目標	30%以上
----	-------	----	-------

▼目標指標

指標	認定農業者数
現状	121 経営体
目標	125 経営体

② 地域営農体制づくりと生産基盤の整備

農地や用排水施設等の農業生産基盤の計画的な整備及び集落営農体制による農業生産組織の育成強化を図り、農業経営の視点を持った生産性が高く安定した農業を推進します。

農村環境を守るため、農地・水・環境保全向上対策や中山間地域直接支払制度等の活動を推進し、耕作放棄地の解消及び拡大防止を図るとともに、資源作物の

▼施策の満足度評価

現状	21.5%	目標	30%以上
----	-------	----	-------

▼目標指標

指標	圃場整備率
現状	68.6%
目標	70.0%
指標	集落営農組織数
現状	33 組織
目標	35 組織

栽培や市民農園としての解放、農業従事希望者への貸出などについて、農業委員会等の関係機関との協議の上、積極的に推進します。

畜産業については、企業参入・規模拡大などに対し支援を行うとともに、家畜の疫病を発生させないため、防疫等に対する情報提供と体制づくりへの支援を強化します。

有害鳥獣被害対策についても、地域の取組みや捕獲・駆除に対する支援を行います。

鳥獣による人的被害や農林水産物被害を抑制し、生産基盤を保全する有害鳥獣対策を進めます。

競争力のある農林水産業とするために、農林水産物の「産地」の維持拡大を図ります。

③ 環境保全型農業の推進

農業は、食料の生産・供給のみならず、土地の保全、水源かん養、自然環境の保全や美しい景観形成など、多面的役割を果たしていることを再確認し、農業の持つ物質循環機能を活かし、環境と安全に配慮した農業の推進に向け、土づくり等を通じ、有機農業や減農薬・減化学肥料による栽培等の環境保全型農業の取組みを支援します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.8 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

④ 豊富な森林資源を活かした林業の振興

林業の安定的収入確保と地域循環型林業の視点に立ち、持続可能な木材生産体系を構築し、地域材を利用した住宅建築の促進や、木質バイオマスの利活用を支援し、林業の再生、地域の再生及び雇用の拡大を図ります。

森林は、水源かん養機能や、温室効果ガスの吸収源としての機能、グリーン・ツーリズム等の観光フィールドとしての機能を有しており、このような森林の持つ多面的・公益的な機能を発揮させるため、間伐等の施業や、作業道の整備に対する支援を継続するとともに、人材育成の強化、林業の新たな担い手として近年注目を集めている「地域おこし協力隊」や地元住民による「自伐型林業」等、多様な手法を導入して、適切な森林整備を推進します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	自伐林家素材搬入量	1,000 t
----	-----------	---------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	23.3 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	造林面積(年間)
現状	58 ha
目標	80 ha
指標	間伐面積(年間)
現状	439 ha
目標	815 ha
指標	林内路網密度
現状	14.6 m/ha
目標	17.8 m/ha

⑤ 川と海の恵みを活かした水産業の振興

沿岸、河川における稚魚・稚貝の放流事業を関係する協議会等と連携を図りながら今後も推進し、栽培漁業の定着化と育てる漁業により、豊かな漁場を築き、安定した水産物の供給体制の整備を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	35.0 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 農地は放置しないようにします。
- 森林ボランティアに参加します。
- 農業体験や市民農園を活用し農業に親しみます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域の里山や農地は地域全体で守るよう協力します。
- 農林水産業の就業に意欲のある人を地域で快く受け入れます。

2. こだわりの益田ブランドを推進します

◆取組み方針

農林水産業の6次産業につながる商品開発や工業技術を活かした「ものづくり」、地産地消を含めた地域循環型の仕組みの構築により、特徴ある既存産業に光をあて、「益田ブランド」として売り出します。

現状と課題

- 加工グループによる地元産品の加工や農産物直売所での販売などが見られますが、小規模な取組みにとどまっており、地域全体の6次産業化には至っていません。
- 高津川等の地域特性を活かした付加価値の高い産品づくりを進め、市場での「益田ブランド」の評価を高めていくことが重要です。

具体施策

① 地産地消の推進

地産地消は、地元農産物の消費拡大だけでなく、「生産者と消費者の交流」、「健康的な食生活」、「食文化への理解」、「地域経済の循環」など、地域の活性化に寄与するものです。

地元の農林水産物の小売店・スーパー等での取扱いの拡大や、学校や福祉施設等での利用を通じて、地元産品の地域内流通の拡大を図ります。

また、ふるさと寄附制度の活用を図り、地元産品の消費拡大による地域経済の好循環を生み出します。

あわせて、市内の消費者に対する意識啓発を行い、地元産品の選択を促します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	54.7 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	ふるさと寄附金受納件数
現状	1,600 件
目標	3,500 件

② 6次産業化による生産・加工・販売体制の強化

農家や加工グループなどが農産物の生産から販売までを行い、農産物の付加価値を高め、所得向上や雇用の創出につながる6次産業化の推進を図ります。

また、農林水産業に携わる女性の力を活かし、生産から加工・販売の活性化を図るとともに、販売体制の強化を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	30.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

③ 特産品等の高付加価値化の推進

的確な消費者ニーズの把握を行った上で、地域特性を活かした特産品の開発や農林水産物の産地化を進め、益田産品のブランド化を図ることで付加価値の高い産品として販売し、所得の向上と経営の安定化を図ります。

また市内で製造された加工食品として認証されている「益田ブランド認証品」のさらなる開発を推進するとともに、これらを中心にした販売ルートの拡大を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	29.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 益田産の食材や製品を購入します。
- 益田産の食材を市内外の人に口コミでPRします。

地域で一緒になって取り組むこと

- 農産物等のブランド化のために生産者の足並みをそろえます。
- 加工品や特産品のアイデアを出し合います。
- 地域全体でPRする体制をつくりま

3. 市内の産業構造や基盤を強化します

◆取組み方針

既存企業の育成・支援とともに、石見臨空ファクトリーパーク等への新規企業誘致を行い、市内の産業構造や基盤を強化し、雇用の創出を図ります。

現状と課題

共通

- 本市の産業振興の推進拠点として、平成 22 年 4 月に産業支援センターを設置しています。
- 生産年齢人口が年々減少しており、特に 20～44 歳の全人口に占める割合が全国平均を大きく下回っています。
- 平成 27 年 9 月に女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が成立しています。

商業

- 小売業、卸売業とも、従業者数、年間商品販売額いずれもほぼ横ばいで推移しています。

工業

- 製造品出荷額は近年増加傾向にあり、従業者数はほぼ横ばいで推移しています。
- 一部には従業員数や製品出荷額ともに堅調な伸びが見られる分野があるものの、全体的には不安定な状態です。
- グローバル化の進展により生産拠点の海外移転が進む中で、地域間競争は激化し、企業誘致は難しい状況になっています。

具体施策

① 既存企業の育成支援

本市の「ものづくり」やサービスの中核を担う企業の技術力を高めるために、産業支援センターがコーディネート役となり、産学官連携による技術開発、異分野の連携や企業間連携による商品・サービスの開発など、それぞれの得意分野を活かした市内での産業連携を図り、自立した地域経済を確立します。

あわせて、平成 27 年 9 月に成立した女性活躍推進法の趣旨に鑑み、女性の職場における活躍を支援するとともに、一般事業主行動計画の策定や、厚生労働大臣認定の取得を促進します。

★益田市総合戦略〔KPI・数値目標〕

指標	産業活性化支援件数	12 件/年
指標	創業・雇用拡大支援件数	2 件/年
指標	企業間・産業間連携数	2 件/年
指標	創業フォローアップ支援企業数	15 件/年
指標	新規創業・事業規模拡大数	75 件

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	17.6 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	新商品開発件数
現状	2 件
目標	3 件
指標	販売促進件数
現状	4 件
目標	5 件
指標	研究費件数
現状	2 件
目標	10 件
指標	「一般事業主行動計画」策定企業数
現状	1 事業所
目標	10 事業所

② 石見臨空ファクトリーパーク等への新規企業の立地促進

本市の企業集積の拠点となる石見臨空ファクトリーパークの好立地条件を情報発信するとともに、立地支援を強化し企業誘致を進めます。既に立地している企業に対しても、規模拡大や雇用拡大を促進する支援を行います。さらには、本市の特性を活かすことができる農林業に関連する企業を誘致するための条件整備や助成制度の拡充を行います。

また、ICT（情報通信技術）を活用した企業等の機能移転やオフィス誘致を進めます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	誘致企業数	3 社
----	-------	-----

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	20.3 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	企業立地件数
現状	16 件
目標	18 件

③ 次代を担う若者の地元就職の促進

既存企業の育成支援や新規企業の立地促進により、魅力ある雇用の場を確保して若者の定着につなげます。

産業支援センターが窓口となり、地元企業と教育機関が連携した実践的なものづくり人材の育成や、キャリア教育、起業化教育を行うとともに、高校生の地元就職やU・Iターン希望者の就職につなげるための潜在的な求人の掘り起こしを行います。

また、就職希望者に地元産業や企業の情報を効果的にPRし、就職へのマッチングと定住を促進します。

地元商工業者の後継者育成の取組みについても支援します。

★益田市総合戦略〔KPI・数値目標〕

指標	市内事業所への就職希望者数	10 %増
指標	雇用創出数	170 人
指標	高校卒業生の地元就職率	52.7 %

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	23.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

④ 労働者福祉対策の充実

労働者が安定した雇用の下で責任を果たしながら自己の能力を高め、発揮していくことを通じ、ワークライフバランスを実現し、働く喜びと生活の質の向上を得ながら暮らしていけるまちづくりを目指します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.8 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 地元で製造された商品の購入や地元の事業者等が提供しているサービスを利用します。
- 身近な人が地元で就職しやすく、またUターンで帰ってきやすい環境をつくれます。

地域と一緒にになって取り組むこと

- Iターン者を地域で歓迎します。
- 地域の特性を活かしたサービスや商品開発に協力します。

4. 新産業の創出や起業支援を行います

◆取組み方針

新たな産業構造を生み出す新産業やヒト・モノ・カネが地域内で循環するような新規事業を創出するための仕組みをつくり、技術・能力の育成や起業支援を行います。

現状と課題

- 広大な森林面積、県内有数の規模を誇る畜産業等、バイオマス資源が豊富で、これの利活用による新産業の創出が可能です。
- バイオマス資源のうち、家畜排せつ物についてはほぼ 100%の利活用が図られています。
- 林地残材等の木質バイオマス資源についても利活用の拡大が検討されています。
- 地元農産品を活用した加工品販売や農家民泊等、地域づくりと連動した新規事業に取り組む動きが見られます。

具体施策

① 新・省エネルギーの利活用による新分野の育成

バイオマスの利活用により、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に寄与するとともに、バイオマスによる新たな産業を創出し、資源の供給地として農山漁村の活性化につなげます。

特に低位利用にとどまっている林地残材等の木質バイオマス資源の有効利用を図り、事業化に向けた情報収集やPR活動、販路開拓等を行います。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	20.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 新規事業に取り組む起業家の育成支援

産業支援センターが中心となり、市内高等学校や県立大学及び国、県、産業支援機関等との連携による地元産業の次代を担う人材の育成を図るとともに、経済団体や金融機関及び行政が連携して、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネス等の起業及び創業を支援する環境整備を進めます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	キャリア教育に取り組む学校数		
	小学校	16 校	
	中学校	12 校	
	高等学校	4 校	

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	19.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

③ 時代のニーズにあった技術・能力の育成・支援

本市の「ものづくり」やサービスに係わる人材の技術力の底上げを図るとともに、起業や創業にチャレンジする産業人材の育成を支援します。また、既存の事業のさらなる成長・拡大に挑む地元企業を応援するための支援制度の創設や機器・設備の導入支援を行います。

企業のイノベーションや技術革新を進める高スキル人材の育成・確保の支援を含め、企業の新分野参入を目指す取組みや、新商品の開発、販路の開拓などの取組みを支援し、企業の競争力強化を図ります。

中小企業・小規模事業者の経営力強化や事業継承を支援します。

金融機関等の関係機関と連携し、企業の意欲的な取組みを支援する環境整備を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.0 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- バイオマスの利活用のために、廃食用油の分別回収等に協力します。
- 新たな技術、資格の習得に取り組みます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域全体でソーシャルビジネスやコミュニティビジネスについて考え、教育機関、地元企業等と連携、交流を図り、地域全体で事業を支えます。

5. 観光・交流を促進します

◆取組み方針

歴史・文化等の地域資源のネットワーク化や森林や農地を活かした体験型・滞在型観光の実施、広域連携による国際・国内交流の推進などを通じ、空港を核として、交流人口の増加を図ります。

現状と課題

- 観光入込み客数は、島根県芸術文化センター「グラントワ」の開館に伴い増加し、平成 18（2006）年に 100 万人をピークに、それ以降は減少傾向にありましたが、近年は増加の傾向に転じています。
- 島根県芸術文化センター「グラントワ」は本市の交流拠点として大きな役割を果たしており、開館から平成 28 年 1 月までの入館者の延べ人数は約 373.6 万人に上ります。
- 本市の観光は、日帰り観光が中心であり、近隣の石見銀山、アクアス、津和野、萩等の主要観光地への通過点となっているのが現状です。
- 高津川流域、森林、歴史・文化等、観光資源は豊富ですが、広範な市域に分散しており、それを一体的に PR して全体を回遊させる仕掛けや観光資源をつなぐ交通手段が不足しています。
- 高津川を活用する動きや、関連産業と連携した交流の場の創出に向けた取組みがはじまっています。

具体施策

① 地域特性を活かした観光開発

観光に関係する事業者や団体、専門家等の声を聞きながら、観光資源の魅力向上の取組みや掘り起こしを行い、各地域特性を活かした新たな観光商品を生み出すとともに、民間主導での観光・交流を促進するため、観光推進体制の見直しを行います。

また、地域固有の歴史資源を活かしたまちづくりを進め、「日本遺産」認定を目指すとともに観光客の誘客を進めます。

地域資源を活かした地産地消活動や地元産品にこだわった「食」の開発や普及を行うとともに、これを提供する店舗や施設を確保し、「食」を通じた本市の魅力の向上を図ります。

山陰自動車道の開通にあわせ、益田のひと・もの・情報が集まる交流拠点である「道の駅」の整備について検討を進めていきます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	観光入込客数	100 万人/年
指標	歴史企画展入込者数	2 万人(3 回)
指標	道の駅の整備	新規 1 箇所

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	23.3 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 地域の観光資源のネットワークづくり

各地域に点在している観光資源をつなげるストーリーをつくり、統一テーマでの情報発信や観光資源を周遊できる観光商品の開発などを推進します。

関係する自治体や県西部の観光振興団体と連携し、広域的な観光資源を活用した魅力づくりと誘客を進めます。

特に、高津川においては、より広域の視点から、高津川流域における観光資源をネットワーク化し、それを踏まえた観光・交流プランの企画を行います。

情報発信力を強化し、島根県芸術文化センター「グラントワ」等を活用して MICE の誘致を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.4 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

③ 自然、農山村の良さを活かした体験型観光・滞在型交流の推進

地域の特性を活かしたサイクリング等のニューツーリズムや豊かな自然資源や農地及び伝統芸能などを活かした地域体験型の交流モデルの構築を進め、その実施主体となる地域の事業者や団体への支援、ボランティアガイドやグリーン・ツーリズムインストラクターの養成などを行います。

また、民泊等の多様な宿泊機能の充実を図ることにより、滞在期間を延ばす観光地を目指す事業に取り組みます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

④ 国内交流・国際交流の推進

姉妹都市である高槻市との交流を継続するとともに、島根県芸術文化センター「グラントワ」や萩・石見空港等を活かし、地域の相互連携による交流や民間主導の経済交流・文化交流への拡大を推進します。

また、1991年に友好交流議定書を締結した中国寧波市との交流を継続し、友好と親善を深めるとともに、文化の多様性を理解し、外国語でコミュニケーションをとることができる人材を育成します。

地縁と知縁を活かした交流事業や地域間の連携を図り、地域の活性化を推進します。

川崎市などの友好都市とのスポーツや文化などの分野で都市交流を推進し、交流人口の拡大を進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.4 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 私たち一人ひとりが自分の住むまちのことを知り、誇りに思い、その魅力を市内外の人に伝えます。
- 特技や知識を活かしたおもてなし意識を高めます。
- 外国語の知識を活かした観光ガイド役を引き受けます。
- 萩・石見空港マラソン大会にボランティアスタッフとして参加し、おもてなしに努めます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域ぐるみで自然や歴史・文化等の様々な資源・宝の掘り起こしを行い、積極的にPRします。
- 地域主体の観光・交流のためのメニューづくりを行います。
- 地域における外国人の受け入れ体制を整えます。

第4章 基本目標Ⅳ

地域間の連携や交流を促す 基盤が整備されたまち

市内の地域間をつなぐグリーンライン90等の道路網の整備や日常生活に必要な病院等の施設や駅に向かう公共交通の確保を行い、地域間の連携や交流を促進するとともに、生活バスや乗合タクシーの運行などにより地域主導型の生活交通体系を構築し、各地域での生活の維持を図ります。さらには広域交流を視野に入れ、広域的な都市間をつなぐ山陰自動車道等の高速道路網の整備や航空路線の維持・充実による利便性の向上を図ります。

また、地域ごとの特性を活かし、景観に配慮したまち並みの形成を行うことにより、魅力的なまちづくりを進めるとともに、駅前地区、高津地区等の基盤整備や益田川左岸地区における区画整理など、魅力的な市街地を形成します。

さらに、地域情報化の推進にあたっては、市内全域に光ファイバー網が整備されたことから、今後は、各家庭や事業所、学校等へのパソコン等の情報通信機器の普及を通して、ハードとソフトの両面から情報格差の縮小に努めるとともに、行政・防災・医療・教育・産業等の多様な生活サービスへの有効活用を図ります。

基本施策

具体施策

基本施策 1

市内外のアクセスを確保する道路網を整備します

- ① 安全、きれいな道路環境づくり
- ② グリーンライン 90 の整備促進
- ③ 高速道路網の整備促進
- ④ 国道・県道等の幹線道路の改良整備促進
- ⑤ 市道・農道・林道の整備

基本施策 2

生活を支える公共交通機関を整備します

- ① 路線バス・鉄道の維持と利便性の向上
- ② 市民ニーズに対応した新たな生活交通体系の確保
- ③ 萩・石見空港の路線維持・拡大と利便性の向上

基本施策 3

魅力ある市街地を形成します

- ① 都市計画区域の整備、開発及び保全による都市機能の向上
- ② 地域ごとの魅力を活かしたまちづくりの推進
- ③ 区画整理及び地籍調査の推進
- ④ 美しい景観の保全

基本施策 4

ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します

- ① 様々な情報通信格差の是正
- ② 高速情報通信基盤を活用した利便性の高いサービスの推進

1. 市内外のアクセスを確保する道路網を整備します

◆取組み方針

市内の地域間をつなぐグリーンライン90等の道路網を整備するとともに、広域的な都市間をつなぐ山陰自動車道等の高速道路網の早期整備促進を図ります。

現状と課題

- 道路網の整備のためには、広域的に関係市町村とその周辺住民とが連携し、地域の活性化や生活に欠かせない道路問題として取り上げ、実情を訴える必要があります。
- 工事が本格化した「三隅・益田道路」の早期完成と、「山陰道益田・萩間」の早期事業化が強く望まれています。
- 救急搬送や災害等の緊急時の移動時間の短縮が求められています。
- 安全安心な生活道路の確保が求められています。

具体施策

① 安全、きれいな道路環境づくり

市民主体による地域の道路環境整備の活動を今後も継続していくために、行政が計画的な取組み支援を行い、協働による安全できれいな道路環境づくりを推進します。

また、歩行者環境や通学路における安全性確保や冬の除雪など、生活を守るために必要な道路の維持・管理を行います。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	41.0 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

② グリーンライン90の整備促進

本市を90分で周回できるようにするための道路網である「グリーンライン90」を形成する国道488号、191号、9号、県道波佐匹見線の各幹線道路の早期整備を目指して道路改良事業を促進することにより、各地域につながりをもたせ、市全体で一体感を醸成する利便性の高い道路ネットワークを構築します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	31.3 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

③ 高速道路網の整備促進

物流や医療、観光、企業誘致等の様々なまちづくりの分野との連動も踏まえ、山陰道の未整備区間の早期解消、さらには山口、広島といった近隣の都市圏とを結ぶ高速道路網の整備を促進します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	山陰自動車道の整備延長	25.1 km
----	-------------	---------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	31.2 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

④ 国道・県道等の幹線道路の改良整備促進

市内や周辺都市とのひとやものの交流・連携の円滑化や緊急時の移動時間の短縮が進むよう、国道、県道、市道等の幹線道路の整備を促進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.3 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

⑤ 市道・農道・林道の整備

地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、市民の日常生活の利便性の向上を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	29.7 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 家の前の道路の清掃など、身の回りの環境維持に努めます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域で道路の環境維持活動に取り組みます。

2. 生活を支える公共交通機関を整備します

◆取組み方針

既存のバス路線や鉄道の維持、デマンドバス等の市民ニーズに対応した新たな生活交通体系の整備を行い、日常生活に必要な病院等の施設や駅に向かう交通手段を確保します。また、航空路線の維持・充実により、利便性の向上を図ります。

現状と課題

- 人口減少や自家用車等の普及により、鉄道及び路線バス等の利用者数が減少し、公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。
- 公共交通に関する行政負担は、増加する傾向にあります。
- 萩・石見空港の東京線は当初目標の2便化を実現し、利便性の向上が図られています。
- 萩・石見空港の大阪線は平成23年度以降は期間限定での運航となっています。

具体施策

① 路線バス・鉄道の維持と利便性の向上

通院・通学、買い物等の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保しつつも、路線バス、周辺部の交通について、それぞれの需要に見合った運行形態や見直しを行い、効率的な公共交通体系を構築します。

また、JRと路線バス、路線バス同士の効率的な乗り継ぎによる様々な負担の解消を図ることにより、市民の利便性の向上を図ります。

鉄道については、沿線自治体・関係機関とも連携して今後の取組みを検討していきます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.1 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	民間路線バス利用者数
現状	608,031 人
目標	現状維持
指標	JR益田駅乗降者数
現状	564 人/日
目標	現状維持

② 市民ニーズに対応した新たな生活交通体系の確保

市街地や中山間地域などにおいて、地域の实情に沿った生活交通手段を確保するため、利用者への聞き取り調査などによってニーズを把握し、利用の状況に応じた見直しや改善を行うことによって持続可能な公共交通体系を構築します。また、自治会輸送などの地域主導型交通体系の構築についてもあり方を再検討し、利便性・効率性の高い生活交通を確保します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	28.2 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	生活バス・過疎バス利用者数
現状	10,948 人/年
目標	現状維持
指標	乗合タクシー利用者数
現状	3,284 人/年
目標	現状維持

③ 萩・石見空港の路線維持・拡大と利便性の向上

県・周辺市町・関係団体との連携による観光商品開発や交通ネットワークの形成、共同プロモーション活動など、利用圏域が一体となった取組みの推進により、空港の利用を促進し、東京線の 2 便の維持と大阪線の定期運行再開に取り組みます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	萩・石見空港東京線乗降客数 140,000 人/年
----	------------------------------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	30.5 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	便数
現状	東京線 2 便 大阪線季節運航
目標	東京線 2 便(維持) 大阪線定期運航
指標	搭乗率(大阪線)
現状	52.8 %
目標	80.0 %

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 路線バスやJRを利用します。
- 萩・石見空港を利用します。
- ノーマイカーデーの取組みに参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域の助け合いの中でできる新たな生活交通について検討します。

3. 魅力ある市街地を形成します

◆取組み方針

地域ごとの特性を活かし、景観に配慮したまち並みの形成を行うことにより、魅力的なまちづくりを進めます。また、中心市街地においては、益田の玄関口である益田駅前を核とした魅力的な市街地の整備を行います。

現状と課題

- 商業集積地域が駅前周辺から高津地区や中吉田・中島の区画整理地へとシフトしています。
- 鉄道により地域が分断され、人の流れが阻害されています。
- 地籍の明確化が遅れています。
- 駅前地区の空き区画や空店舗が増大しています。
- それぞれの地域における文化や歴史、風土、課題に応じたまちづくりが求められています。

具体施策

① 都市計画区域の整備、開発及び保全による都市機能の向上

都市計画マスタープランに基づき、本市の規模に応じた都市基盤の整備や位置づけを行います。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	18.7 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 地域ごとの魅力を活かしたまちづくりの推進

それぞれの地域の文化や歴史、風土を活かし、魅力あふれるまちづくりを進めます。

また、中心市街地においては、駅前地区の空き区画や空店舗の解消、駅北側との連携などにより、市の玄関口である益田駅前周辺のにぎわいの創出を図るとともに、都市機能が集約した効果的な都市づくりを進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.1 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	駅前駐車場利用台数
----	-----------

現状	266,342 台/年
----	-------------

目標	287,600 台/年
----	-------------

③ 区画整理及び地籍調査の推進

益田川左岸地区土地区画整理事業により、道路、公園等の公共施設を整備して良好な住環境を形成するとともに、既成市街地では面積的に確保が困難な流通業務系の土地を確保し、将来の高速道路網へのアクセスの利便性を活かした人・もの・情報の広域交流拠点として整備を図ります。

また、計画的な土地の利活用やまちづくりを行うために、地籍調査事業を推進し、地籍の明確化を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.1 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	益田川左岸地区土地区画整理事業進捗率
現状	59.0 %
目標	100 %
指標	区域内人口（益田川左岸地区）
現状	430 人
目標	2,000 人

④ 美しい景観の保全

益田市景観計画に基づき、歴史的な景観や美しい自然景観などの、地域の実情に即した景観づくりの実現を図ります。

石見地域の特徴的な景観である赤瓦のまち並みを保全し、これからの世代にも伝えていくとともに、地域の魅力としてPRします。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	29.0 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 身近な景観づくりに取り組みます。
- 駅前のにぎわいづくりに参加します。
- 自宅の新築、改修の際には赤瓦を使います。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域全体で一体的な景観づくりに取り組みます。

4. ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します

◆取組み方針

光ファイバーによるブロードバンド環境の整備や携帯電話通話エリアの拡大により、情報格差の縮小に努めるとともに、行政・防災・医療・教育・産業等の多様な生活サービスへの有効活用を図ります。

現状と課題

- 光ファイバー網が市内全域に敷設されており、その回線を利用して高速通信を行う環境は整備されています。
- パソコン等の通信機器は、利便性の高い生活の維持に欠くことのできないものとなりつつあります。

具体施策

① 様々な情報通信格差の是正

益田市内全域に敷設されている光ファイバー網の維持・管理に係わる財源を確保し、高速情報通信基盤（情報ネットワーク）の安定的な運用を図ることにより、「ブロードバンド・ゼロ地域」の解消、テレビ難視聴地域や携帯電話不感地域への対応など、情報通信に係わる地域間格差解消に努めます。

また、基盤整備と連動して、各家庭や事業所、学校等へのパソコン等の情報通信機器の普及を促進し、ハードとソフトの両面から情報格差の是正を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.1 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

② 高速情報通信基盤を活用した利便性の高いサービスの推進

光ファイバー網を活用し、全戸を対象として設置を進めている「緊急防災放送装置」の維持・管理に努め、緊急災害情報の早期伝達の手段としての有効性を高めます。

また、情報通信基盤の行政サービスにおける一層の活用を図るとともに、福祉・医療・教育・産業等の様々な分野での有効活用のための環境整備を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	40.2 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- パソコン等の使い方を学び、積極的に情報通信基盤を活用します。

地域で一緒になって取り組むこと

- パソコンを教え合うなど、地域の助け合いの中で地域内での情報交流を進めます。

第5章 基本目標Ⅴ

豊かな自然環境や 快適な生活環境の中で暮らすまち

日常生活に必要な商業機能や住宅の維持、暮らしを彩る公園等の憩いの場の充実、上下水道の整備、し尿・ごみ対策などを通して、快適に暮らすことができる生活環境を整え、市民の生活の質を高めるとともに、省エネルギー行動や3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進など、地球環境にも配慮した取組みを促進します。

また、高津川や森林資源等の保全や市民一人ひとりの環境保全意識の醸成を通して、豊かな自然環境を後世に残すための取組みを実施し、環境にやさしいまちづくりを推進します。

基本施策

具体施策

基本施策 1

暮らしやすい住環境を創出します

- ① 安全・安心かつ快適な暮らしを実現する住宅及び居住空間の確保
- ② 公園や親水空間等の日常生活の憩いの場の整備
- ③ 地域の生活拠点における商業拠点の維持・向上

基本施策 2

人と地球にやさしい地域環境を形成します

- ① 地球環境保全に関する取組みの推進
- ② 生活環境保全に関する取組みの推進
- ③ 一般廃棄物の適正な処理とごみ分別収集によるリサイクル及び減量化の推進
- ④ 上水道・簡易水道等の整備
- ⑤ 下水道等の整備

基本施策 3

豊かな自然環境を保全します

- ① 自然環境保全に対する市民意識の啓発
- ② 高津川・益田川等の河川の水質保全
- ③ 森林の公益機能を維持するための適正な管理

1. 暮らしやすい住環境を創出します

◆取組み方針

公営住宅の整備や、日常生活に必要な身近な商業機能の維持、暮らしを彩る公園等の憩いの場の充実を通して、快適に暮らすことできる住環境を整えます。

現状と課題

- 公営住宅の老朽化が進んでおり、耐震性や安全性が劣ってきています。
- 公園にある施設の老朽化が進んでおり、修繕又は更新が必要です。
- 地域の生活拠点にある商業施設は店主の高齢化や地元購買の減少などにより、存続が難しくなっている店舗が増えている状況です。

具体施策

① 安全・安心かつ快適な暮らしを実現する住宅及び居住空間の確保

老朽化が進み、防災性、防犯性、耐震性に劣る公営住宅を計画的に建て替え、地域特性や定住者のニーズに応じた多様な住居規模の住宅の供給を推進するとともに、既存の住宅のバリアフリー化や安全性の向上を通して居住空間の質の維持・向上を図ります。

若者の定住を促進するため、若年層世帯向けのリノベーションを含め、生活様式の多様化に対応した柔軟な整備のあり方を検討して進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.3 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	住戸内手すり設置
現状	66.0 %
目標	70.0 %

② 公園や親水空間等の日常生活の憩いの場の整備

既存の公園・広場等の老朽化に伴う施設の修繕や長寿命化、耐震診断結果に基づく対策、さらにはバリアフリー化等により今後も継続的に維持管理し、市民が安全で安心して利用できる憩いの場を提供します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	27.5 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	便益施設バリアフリー化率
現状	88.9 %
目標	94.4 %

③ 地域の生活拠点における商業拠点の維持・向上

高齢者等への買い物支援等により、地域の生活拠点における商業活動の支援を行い、各地域の日常生活圏における商業機能を確保していきます。

コミュニティビジネスの展開など、地域づくりを担う人材育成を進めるとともに、コミュニティビジネスの起業を支援します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標 コミュニティビジネス創業数 20 件

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状 23.1 % 目標 30 %以上

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 地域の商業機能維持のためにも地元で買い物をします。
- 公園や広場等の清掃活動には積極的に参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 公園や広場等の清掃活動を地域で行うなど、地域内の憩いの場の維持・管理に協力します。

2. 人と地球にやさしい地域環境を形成します

◆ 取組み方針

上下水道の整備、し尿・ごみ処理体制の充実、ごみのリサイクル・減量化等を行い、快適な生活環境を確保するとともに、環境にやさしいまちづくりを推進します。

現状と課題

- 環境に関する取組みに関しては、市民の間に意識差が見られます。
- 平成19年10月に益田地区広域クリーンセンターが運営を開始するとともに、より一層のごみの減量化、資源化を進めるため、ごみ処理経費の有料化を実施しています。
- 最終処分場の延命の目途が立ったものの、埋め立てごみの行き先が飽和している状況です。
- 下水道等の整備が未だ不十分な状況が見られます。

具体施策

① 地球環境保全に関する取組みの推進

平成21年度に発足した「益田市地球温暖化対策地域協議会」が中心となり、市民参画による地球温暖化対策の取組みを推進します。

また、家庭用太陽光発電システム及び太陽熱利用設備の設置支援等により、市内におけるクリーンエネルギーの利用を積極的に支援します。

▼ 施策の満足度（満足している人の割合）

現状	17.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 生活環境保全に関する取組みの推進

各地域の環境状態を正しく把握した上で、環境に配慮した市民生活や事業活動に向けた意識啓発により、公害を未然に防止し、市民が健康で安全に暮らせる生活環境を保全します。

また、市民参加による美化活動等を引き続き推進し、快適な生活空間を維持します。

▼ 施策の満足度（満足している人の割合）

現状	18.9 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

③ 一般廃棄物の適正な処理とごみ分別収集によるリサイクル及び減量化の推進

益田市リサイクルプラザが中心となり、ごみの分別やりサイクル、ごみの減量化に向けた市民の環境意識の底上げを図るとともに、「益田市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、し尿や可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理に努めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	57.7 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

④ 上水道・簡易水道等の整備

水道の未普及地域の解消事業は平成 25 年度に完了しており、今後は老朽管の更新を計画的に進め、市民生活において最も重要なライフラインとして、耐震化の促進などの災害対策の充実を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	36.2 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	水道普及率
現状	96.0 %
目標	96.5 %

また、国の方針に基づき、上水道事業と簡易水道事業の経営統合作業を順次推進します。

⑤ 下水道等の整備

公共下水道事業については、今後も順次認可区域を拡大し整備促進を図っていく中で、接続率の向上のための積極的な事業PRを行います。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.8 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	汚水処理人口普及率
現状	35.4 %
目標	43.4 %

農業集落排水事業については、施設の経年に伴い維持費の増加が見込まれるため、引き続き接続率の向上のための普及促進活動を行います。

合併処理浄化槽については、今後も集合処理区域外を中心に普及促進を図っていきます。

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 家庭から出るごみの量を減らします。
- ルールどおりごみの分別を行います。
- 積極的に環境活動や美化活動に参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域全体で環境活動や美化活動を企画・実施します。

3. 豊かな自然環境を保全します

◆取組み方針

高津川や森林資源等の保全や市民一人ひとりの環境保全意識の醸成を通して、豊かな自然環境を後世に残すための取組みを推進します。

現状と課題

○ 高津川は全国でも有数の水質を誇ります。

○ 森林面積が広く、多様な生態系を育んでいます。

具体施策

① 自然環境保全に対する市民意識の啓発

本市で低炭素社会を目指すためには、長期的な視野に立ち、自然環境保全の意識を市民全体に広げることが重要であり、市民一人ひとりが環境に対する認識を深め、自主的に環境保全に取り組むよう、これからも継続して環境教育・学習等による意識啓発活動を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.1 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 高津川・益田川等の河川の水質保全

「益田市の河川を美しくする条例」に基づき実施している市内 11 河川の水質検査を継続し、良好な水質を維持するとともに、この水質検査の結果を公表して市民の意識啓発を促します。さらには、河川の水質の良さをまちの宝として市内外へ PR します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	58.0 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

今後も、関連団体等と連携して水質改善の取組みと下水道の整備等、ソフト・ハード事業の両面から水質保全の取組みを進めていきます。

③ 森林の公益機能を維持するための適正な管理

森林は、水源かん養や多様な生態系の保全、温室効果ガスの吸収など、多面的な公益機能を有しており、これらの機能を維持していくために、関係機関や地域おこし協力隊及び自伐型林家等様々な主体との連携・協力により、間伐等の適正な森林管理を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	30.4 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	木材生産団地の設定面積
現状	8,637 ha
目標	9,000 ha

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 自然環境を大切に思う心を育みます。
- 河川の清掃や森林の管理などの良好な環境を維持するための取組みに参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域ぐるみで河川清掃や森林管理を行います。

第6章 基本目標VI

地域のつながりの中で、 一人ひとりが活躍するまち

地域の人々を様々な危険から守るための生活・交通安全対策の強化や、地域内の自主防災体制の整備などを進め、地域のささえあいの中で安心・安全なまちづくりを実現します。

また、各地域での生活を今後も維持していくために、地域自治の考えのもと、市民や企業、NPO 法人等の多様な主体が活動しやすい環境をつくるとともに、自立して集落機能を維持するための自治組織をつくり、地域のリーダーづくりや、NPO 法人等の体制づくりを促進します。

さらに、空き家を有効利用するなど、U・Iターン者の定住のための受け皿をつくり、各集落への定住者を確保します。

基本施策

具体施策

基本施策 1

地域の安全対策を強化します

- ① 生活・交通安全対策の充実
- ② 防犯体制の充実・強化

基本施策 2

自助・共助・公助の
消防・防災体制を強化します

- ① 防災体制の充実
- ② 地震や土砂崩れ等の自然災害対策の充実
- ③ 消防・救急・救助体制の充実・強化

基本施策 3

多様な主体が参画する
地域自治組織の形成を促進します

- ① 地域自治組織の充実と活動拠点づくり
- ② 市民の自治意識の啓発と地域のリーダーづくり
- ③ 市民活動団体・NPO法人等の組織の育成・支援

基本施策 4

地域への定住を確保
するための集落対策
を促進します

- ① U・Iターンの支援
- ② 空き家の利用促進

1. 地域の安全対策を強化します

◆取組み方針

消費生活・トラブルの相談窓口を充実させるとともに、地域の子ども等を様々な危険から守るための生活・交通安全対策を強化します。

現状と課題

- 高齢者の交通事故が増加しています。
- 子どもが犯罪に巻き込まれないよう、地域の子どもたちは地域で守る取組みが求められています。

具体施策

① 生活・交通安全対策の充実

増発している高齢者の事故に対する交通安全対策をはじめ、市民の交通安全に対する意識の高揚を図ります。

また、消費生活における市民の相談窓口として平成22年度に益田市消費生活センターを設置しており、引き続き専任の相談員を配置するなど、トラブル解決の体制の強化や消費者問題啓発出前講座の開催などにより、消費者被害の未然防止に向けて取り組みます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	33.9 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

② 防犯体制の充実・強化

様々な危険から子どもたちを守るため、地域の大人が登下校の見守りをするなど、地域の助け合いによる防犯体制を強化するとともに、防犯灯の設置を推進するなど、地域内の危険箇所を減らします。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	52.4 %	目標	60 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	青色防犯パトロール隊の結成
----	---------------

現状	10 団体
----	-------

目標	12 団体
----	-------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 消費者トラブルに巻き込まれたらひとりで抱え込まず、益田市消費生活センターに相談します。
- 車や自転車等の運転マナーに気をつけ、事故のないよう注意します。
- 不審者情報の提供に努めます。
- 散歩や玄関前の掃除などを子どもの登下校の時間にあわせて行い、声掛け等を行います。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域で子ども見守り隊を結成するなど、地域が主体となった防犯活動を行います。
- 防犯のためにも、地域内の声掛け運動からはじめます。

2. 自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します

◆取組み方針

市全域の危機管理体制を強化するとともに、地域内の自主防災体制を整え、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ります。また、浸水被害防止対策や土砂災害防止対策を強化します。

現状と課題

- 防災については、自助、共助がまず必要であり、市民の防災意識を高めるとともに、地域における協力体制を構築することが求められています。
- 局所的な豪雨等による急な災害に備え、地域住民による危険箇所等の的確な把握が必要です。
- 宅地開発が進んでいる地区では水路の排水能力が不足しており、早急な対策が必要です。
- 緊急時に備え、避難場所と避難行動の確認が必要です。

具体施策

① 防災体制の充実

災害に強いまちづくりを目指し、想定される様々な災害に対する危機管理体制の充実を図るとともに、ケーブルテレビや緊急防災放送装置、安全安心メール等を活用し、すべての市民へ災害等の緊急情報が迅速かつ正確に提供できる体制を構築します。

また、各地域の防災拠点の充実・強化を図るとともに、自主防災組織を地域ごとに組織し、自助、共助の防災体制を全市的に確立します。

また、水防センターについては、防災の拠点として防災学習会を実施するなど、市民の防災意識の高揚を図るための施設として活用していきます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	自主防災組織の設立数	60 地区
----	------------	-------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	44.8 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	自主防災組織の組織率
現状	34.1 %
目標	40.0 %

② 地震や土砂崩れ等の自然災害対策の充実

治山・治水・砂防・海岸事業により浸水被害防止対策や土砂災害防止対策等を図り、自然災害に強いまちづくりを進めるとともに、自然災害の危険区域については、災害時に安全が確保できるよう、避難施設等の整備を行います。

また、市民が自ら浸水や土砂災害の危険箇所を把握し、自然災害への認識を高められるようハザードマップの活用及び土砂災害警戒区域の周知に努めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	44.8 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

③ 消防・救急・救助体制の充実・強化

消防団員の確保や消防団の技能向上により、地域消防力の向上を図るとともに、益田広域消防署と連携し、市民を住宅火災から守るための予防対策を推進していきます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	47.8 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 各地域での防災学習会等に参加し、まず自助の意識を高めます。
- 身近にある災害危険箇所を確認します。
- いざというときにいつでも避難できるように、日頃から避難準備を行います。
- 益田市安全安心メールに登録します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 自助で足りない部分は共助で補えるよう、地域ごとに自主防災組織を立ち上げます。
- 地域の災害危険箇所は地域全体で把握・確認し、地域住民全員での情報共有を行います。

3. 多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します

◆取組み方針

地域を今後維持していくため、市民や企業、NPO 法人等の多様な主体が積極的に参画し、自立した自治組織をつくり、地域のリーダーづくりや、NPO 法人等の体制づくりを促進します。

現状と課題

- 地域の内外から多様な主体が参画する新たなコミュニティが一部の地域で誕生しています。
- 人口減少、少子高齢化の急激な進行によって、地域リーダー等のマンパワーが不足し、集落内での草刈りや清掃等の共同した取組みが困難となってきています。
- 中山間地域では、集落と集落の間に距離があり、生活環境も違うため、集落の再編が非常に困難となっています。
- 市民活動支援センターが設置され、市民活動団体やNPO法人等に対する活動支援の取組みが行われています。

具体施策

① 地域自治組織の充実と活動拠点づくり

集落機能の低下している地域を中心に、集落のコミュニティ機能・互助機能が維持確保できる集落規模への再編を進めます。

地域力の向上を図り地域自治組織の設立を進める取組みを支援します。

地域の困りごと解決や、コミュニティビジネスの展開など、地域づくりを担う人材の育成を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	22.2 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	市の認定を受けた地域自治組織設立数
現状	1 団体
目標	20 団体

② 市民の自治意識の啓発と地域のリーダーづくり

市民が主体的な自治活動を促進していくため、自治意識の啓発を図るとともに、国の支援事業である集落支援員・地域おこし協力隊員制度を活用による集落支援をはじめとした地域リーダーの育成及び新たなコミュニティの構築への支援に取組みます。

また、「ふるさとに愛着を持ち、ふるさとを想い続ける人材」を育成するため、子どもから大人まで切れ目のないふるさと教育を推進します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	地域づくり研修会への参加者数 20 人以上/年
指標	地域づくり研修会の開催回数 4 回/年

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	24.1 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	地域コーディネーターの配置 (つろうて子育て協議会)
現状	24 人
目標	28 人

③ 市民活動団体・NPO法人等の組織の育成・支援

平成22年4月に開設した市民活動支援センターを中心に、市民団体の立ち上げ支援や運営、活動への指導・相談体制の充実を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.0 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	市民活動支援センター登録グループ数
現状	26 団体
目標	31 団体
指標	NPO 法人の設立数
現状	17 法人
目標	22 法人

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 地域自治への認識を高めます。
- 自治会活動に積極的に取り組みます。
- 市民活動団体やNPO法人等の活動に参加します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 地域自治組織を立ち上げ、集落のこれからの地域全体で考える仕組みをつくります。

4. 地域への定住を確保するための集落対策を促進します

◆取組み方針

地域への定住者を確保するために、各集落の空き家の利用を促進するなど、Iターン者やUターン者が移り住んで来やすい仕組みを構築し、これからの集落を担う人材を確保します。

現状と課題

- 中山間地域の集落では過疎化が進み、それに伴い空き家も増加しています。
- 空き家の中には管理されず、放置されたままの住宅も見られます。
- 定年退職後の田舎暮らしのニーズが高まっています。
- U・Iターン者の多様なニーズにきめ細かく対応するための体制づくりが求められています。

具体施策

① U・Iターンの支援

企業や事業所と連携を強化し、企業情報や人材情報、「待機児童ゼロ」の恵まれた子育て環境や、山・川・海の豊かな自然環境など、益田の魅力を情報発信し、U・Iターンを促進します。

子育て世代の困りごと解決や魅力的な地域づくり及び、U・Iターン者支援やますだ暮らしの魅力向上に取り組むサポート人材の育成を進めるとともに、U・Iターン者の就業を支援します。

また、ふるさと教育の推進により地域を誇りに思い、愛着を持つことにつなげるなど、若者の地元就職を促す取り組みを行い、若者の流出に歯止めをかけるとともに、定年後の居住先としての受け入れ体制を整えます。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	高校・大学卒業後地元定住者数	60 人/年
指標	UIターン者数	1,150 人/年
指標	都市部での定住イベント	6 回/年
指標	UIターン相談継続実施者数	10 人/年
指標	ますだ暮らしサポーター登録者数	20 人

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	26.0 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

② 空き家の利用促進

空き家バンク制度や住まいへの支援により、U・Iターンや定住を促進します。

★益田市総合戦略〔KPI〕

指標	空き家バンクマッチング件数	20 件/年
----	---------------	--------

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	25.4 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 市外で暮らしている家族や友人に「帰りんちゃい」と声掛けを行います。
- 市外の人に益田暮らしの魅力をPRします。

地域で一緒になって取り組むこと

- U・Iターン者を地域で受け入れる体制を整えます。
- 地域を訪れる人を「おかえりなさいの心」で迎えます。

第7章 基本目標Ⅶ

市民と協働して、効率的・効果的な 行財政運営が行われるまち

市民がまちづくりに参画する機会を増やし、市民と行政が一体となって地域を支える仕組みを構築するとともに、行財政の運営に係わる情報を分かりやすく公開し、市民との情報共有を進め、市民の声や活動を市政に反映させる仕組みを構築します。

また、効率的かつ効果的な行政運営や、各事業、施設の運営のあり方の再検討による健全な財政運営に努めます。

基本施策

具体施策

基本施策 1

市民と行政の協働を推進します

- ① 市民の参画機会の拡充
- ② 行政による地域自治活動のサポート体制の充実

基本施策 2

分かりやすく開かれた行政を推進します

- ① 情報公開制度の充実
- ② 広報・広聴機能の充実
- ③ 財政状況等の公表
- ④ 透明性のある議会機能の充実

基本施策 3

効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

- ① 市民ニーズに対応した行政組織の再編
- ② 効率的かつ効果的な行政サービスを提供できる職員人材育成の強化及び情報システムの充実
- ③ 財政計画に基づく健全な事業運営の推進
- ④ 民間活力の導入などによる効率的かつ効果的な施設の管理・運営の推進

1. 市民と行政の協働を推進します

◆取組み方針

市民がまちづくりに参画する機会を増やし、市民と行政が一体となって地域を支える仕組みを構築します。

現状と課題

- まちづくり基本条例（仮称）について検討しましたが、市民の条例策定への意識醸成が十分でなく、引き続き条例策定に向けて取り組む必要があります。
- 各地域に多くの活動組織があり、積極的に活動されていますが、それぞれの活動につながりがなく、取組みの連動性や情報共有が不足しています。

具体施策

① 市民の参画機会の拡充

「まちづくり基本条例」（仮称）の制定を目指すとともに、まちづくりにおける市民と行政、議会の協働のあり方や、それぞれの役割を明確にします。

市民と行政が連携・協働してまちづくりを推進していくために「まちづくり市民会議」（仮称）の設置を検討します。

また、市政懇談会や行政モニタリング、市民アンケート調査、市民ワークショップ、パブリックコメントなど、市民のまちづくりに対する意見を求め、行政と市民がともに意見交換ができる場を充実させていきます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	25.3 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

② 行政による地域自治活動のサポート体制の充実

財政支援等を通じて、地域自治組織やボランティア団体、NPO法人が積極的に活動できるようサポートするとともに、それぞれの地域での活動をつなぎ、お互いの情報を共有するための場や仕組みを構築します。

また、これからの地域自治活動を支える人が育つように、地域のひとづくりに係わる取組みを促進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	25.0 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- これからの益田市のまちづくりについて一緒に考えます。
- 市政懇談会や市民ワークショップ等に積極的かつ主体的に参画します。

地域で一緒になって取り組むこと

- 各地域で地域自治の取組みを積極的に進めます。
- これからの地域を担う人材を育成・確保します。
- 各地域の活動間で情報を共有し、連携・協力できるような関係づくりを行います。

2. 分かりやすく開かれた行政を推進します

◆取組み方針

行財政の運営に係わる情報を分かりやすく公開するとともに、市民との情報共有を進め、市民の声を市政に反映させる仕組みを構築します。

現状と課題

- 「広報ますだ」を定期的に発行するほか、ホームページによる発信や「市長と語り合う会」の開催など、様々な媒体を通じて行政情報の提供を行っています。
- 「広報ますだ」について、内容の充実が求められています。
- 「市長と語り合う会」では、参加者が少なく、市民の方が参加しやすい会にすることや内容を充実させることが求められています。
- 情報公開に関する市民満足度が低くなっています。
- 市民への広報の新たな手段として、ケーブルテレビが開局しました。
- ケーブルテレビによる録画生中継及び録画放映、インターネットによる一般質問の録画放映及び会議録閲覧、議会報告会、主権者教育支援事業、議会だよりの発行など、議会活動の積極的な情報提供を行っています。

具体施策

① 情報公開制度の充実

様々な手段を用いて行政情報の公開を積極的に推進し、公平で透明性の高い情報公開を推進します。

国では地域の活性化策やマーケティング戦略の策定をサポートするため、ビッグデータを活用した地域経済の見える化システムである「地域経済分析システム」(RESAS)を提供しています。このような国や地方公共団体が提供するデータやシステムを民間企業等においても活用してもらうための取組みを進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	33.6 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	開示請求件数
現状	26 件
目標	40 件

② 広報・広聴機能の充実

市政懇談会や行政モニタリング等の市民の意見を行政運営に反映するための広報・広聴機能の充実を図ります。

また、行政情報の発信方法として、広報誌の内容の

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	38.4 %	目標	50 %以上
----	--------	----	--------

充実を図るとともに、迅速な情報提供が可能なホームページや文字放送の拡充を図っていきます。

③ 財政状況等の公表

毎年度行っている広報誌及び市ホームページでの予算・決算の状況、及び財政状況の公表を継続するとともに、誰が見ても分かりやすい資料による公表に努めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	30.2 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

④ 透明性のある議会機能の充実

市民の意思を代弁する責務を負う議会として、議会での議論内容を市民に分かりやすく公表することにより、透明性があり、かつ、情報発信力のある議会運営を目指します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	32.1 %	目標	40 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取組み

身近に取り組めること

- 発信される行政情報に関心を持ち、受け取ります。
- 質問や意見・提言を積極的に市へ届けます。

地域で一緒になって取り組むこと

- 総合振興計画の内容について地域で話をする機会を持ち、関心を高めます。
- 各地域で行われている議会報告会に地域全体で積極的に参加します。

3. 効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います

◆取組み方針

効率的かつ効果的な行政運営を行うとともに、各事業、施設の運営のあり方の再検討を行い、健全な財政運営を行います。さらに、定住自立圏構想等による広域行政の連携強化を図ります。

現状と課題

- 持続可能な財政運営を図るため、さらなる行財政改革が必要です。
- 複数の自治体間による情報システムの共同利用など、さらなる効率化の可能性が 있습니다。
- 新たな市民ニーズや地方分権等により、今後さらに事務の高度化、専門化が求められ、これに適切に対応できる職員の能力開発等の人材育成が急務となっています。
- 本市で民営化された施設では、経費の節減だけでなく、サービスの向上などの効果も見られています。

具体施策

① 市民ニーズに対応した行政組織の再編

各地域がそれぞれ抱えている個別の課題に対し効果的な対応ができるよう、行政の運営体制の不断の見直しを行います。

また、定住自立圏構想等による広域行政の連携強化を図ります。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	18.6 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

② 効率的かつ効果的な行政サービスを提供できる職員人材育成の強化及び情報システムの充実

市民ニーズに対応した行政サービスやより高度な政策形成ができるよう、様々な分野での専門職員等の育成を図るほか、平成 27 年 3 月に策定した「益田市人材育成実施計画」に基づく、職員の能力開発等を進める上で、人事評価制度を確立します。また、行政評価制度を導入し、市民に分かりやすい政策運営を推進します。

また、市民ニーズに適合した電子自治体システムの構築や情報システムの共同利用などによる事務処理の効率化を推進します。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	21.1 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	証明書の電子交付の割合
現状	24.3 %
目標	50.0 %

指標	情報システムの共同利用化の割合
現状	9.1 %
目標	20.0 %

③ 財政計画に基づく健全な事業運営の推進

持続可能な財政構造を実現するため、「益田市中期財政計画」のローリングを毎年行うとともに、平成25年度に策定した「益田市行財政改革指針」等に基づき、市税等の収納率の向上や受益者負担の適正化、市有財産の有効活用などによる歳入の財源確保と、事務事業の徹底した精査や市単独の補助金で実施する事業の見直し、総人件費の抑制などによる健全な行政運営を押し進めていきます。

また、従来の予算・決算制度では見えにくいコストやストックを把握することで中長期的な財政運営への活用の充実が期待できる、国が定めた統一的な基準による地方公会計の導入に向けた対応を進めます。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	18.8 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

▼目標指標

指標	実質公債費率
現状	15.2 %
目標	12.0 %未満
指標	将来負担比率
現状	152.3 %
目標	100.0 %未満

④ 民間活力の導入などによる効率的かつ効果的な施設の管理・運営の推進

各地域の施設管理・運営組織の一元化による経費節減を図るとともに、NPO法人等への行政事務の委託、PFI等の民間活力の導入により、効率的かつ効果的な施設の管理・運営を推進します。

また、民間活力の導入などによりどのような効果が見られたのかを定期的に検証し、行政サービスのさらなる向上に活かします。

▼施策の満足度（満足している人の割合）

現状	19.6 %	目標	30 %以上
----	--------	----	--------

私たちの協働の取り組み

身近に取り組めること

- 行財政運営に関心を持ち、適正な運営がされているかどうかチェックします。

地域で一緒になって取り組むこと

- 効率的かつ効果的で健全な行財政運営のあり方について、地域も一緒になって考えます。